



ゲイジユツと出会う夏

札幌国際芸術祭2014 in 中央区

国際芸術祭って
何だろう？

明治期以降、北海道は、石炭資源によるエネルギー供給など、豊かな自然から得られる恵みによって日本の近代化に大きな役割を果たしてきました。札幌も冬季オリンピック開催を機に目覚ましい都市化を遂げたまちです。札幌国際芸術祭2014は、そうした過去をアートを通じて振り返ることで、21世紀の新しい都市、自然との共生のあり方について問い直します。美術館はもちろん、音楽やワークショップなど市内各所でさまざまなプログラムが予定されており、まち全体でアートを楽しむことができます。



▲北海道庁赤レンガ庁舎

札幌市資料館裏庭に出現するコロガル公園 in ネイチャーは、木をふんだんに使った床に、音の鳴る仕掛けなども組み込んだ屋外の「公園」です。子どもたちの動きによって思わぬ所から音が鳴ったり、明かりが点滅したり。子どもたちを中心に追加したい遊びや機能を話し合い、期間中もその姿を変えていきます。

札幌国際芸術祭2014について
(全体概要については全市版2～7ページも
ご覧ください)

テーマ：「都市と自然」。

期間：7月19日(土)～9月28日(日)
の72日間。

区内の主な会場：北海道立近代美術館 | 札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ) | 北海道庁赤レンガ庁舎 | 札幌市資料館 | 札幌大通地下ギャラリー500m美術館 など。



▲札幌市資料館



裏庭に建設中のコロガル公園。出来上がるまであと少し！▶

美術館の
外にも広がる
芸術祭。